

1

グローバルプロフェッショナル認定制度とは

1-1

趣旨・目的

グローバルプロフェッショナル認定制度は、九州大学の教育憲章に基づき、国内外で活躍し、国際的な視野を持ちながらリーダーとして活躍できる力を持つ人材を育成するための副専攻プログラムです。

本認定制度では、九州大学の学生が留学をはじめとする国際的な学びの機会を通じて得た経験やスキルを積極的に評価・認定し、それを社会での活躍につなげる仕組みを提供します。特に、個々の専門能力に加え、国際共修や留学経験を通じて培われる異文化理解力、課題解決能力、そして実践力やリーダーシップ力など人間力の成長を重視します。

これらの資質を備えた学生を「グローバルプロフェッショナル認定者」として認定し、この制度を通して、学生一人ひとりの成長を支援するとともに、日本および世界の発展に寄与する人材への第一歩を応援します。教員は継続的な学生との対話とフィードバックを通じて学生の学びを支援し、卒業までの伴走を通して、九州大学の一気通貫型の国際教育を推進します。

1-2

育成する人物像

九州大学VISION2030は、「グローバルに活躍できる価値創造人材」および「国際社会におけるリーダーとなる人材」の育成・輩出を目指します。そのために、高度な専門性と幅広い学際的視野を涵養するとともに、本認定制度を通して、グローバルに挑戦するための素養と実行力を備えた国際社会をリードする人材を育成します。世界の人々との関わりの中で、主体性・寛容性・批判的思考力を育み、開かれたグローバルマインドとコミュニケーション力、社会に還元する実践力を養います。

1-3

認定制度の対象者

令和8年度入学以降の本学のすべての学部生が対象です。本学の学部に所属している間であれば、いつからでも開始できます。

2

グローバルプロフェッショナル認定制度の内容

2-1

カリキュラムポリシー

本認定制度は、以下のポリシーに基づき、カリキュラムを構成しています。

- 学生は、認定制度ガイダンスを受講し学びのステートメントを記します。これまでの経験や関心を振り返ることで自己理解を深め、国際的な学びに向けた目標を設定し、達成に向けた計画を立てる力を養います。さらに、自らの学びと経験が将来どのように社会と関わっていくかを考えることで、長期的な視野と目的意識を育みます。
- グローバルマインド養成プログラムを通して、幅広い知識の涵養と異文化理解を深めます。自国のアイデンティティと世界の多様な異文化を理解することで、国際的に一步を踏み出すための基礎となる知識を身につけます。
- グローバルコミュニケーション力養成プログラムを通して、語学運用能力を高めます。実践的な語学力を磨きながら、論理的かつ的確に自らの考えを発信し、国際社会で活躍できる語学運用能力を養います。
- 留学等の異文化体験や海外で修得した単位を学修成果として評価し、実践的な国際対応力の向上を促します。また、海外での経験を通じて、物事を深く考える批判的思考力を育みます。これにより、異文化環境での適応力や多様な価値観を尊重する姿勢を養い、グローバルな視野を持って主体的に行動できる人材を育成します。
- 実践的な経験を通じて国際環境の普及に貢献します。留学情報の発信・普及活動、留学生支援活動、校内での国際イベント活動などの実践的な経験を通じて、多様な価値観を尊重しながら主体的に協働し実現する力を養います。

2-2

プログラムの構成

本認定制度は、以下の①から⑥のカリキュラムから構成され、具体的な科目は指定科目一覧のとおりです。

① 認定制度ガイダンスと学びのステートメント

認定制度ガイダンスを受講し、本プログラムの修得を通じた学びの目標を記した「学びのステートメント」を提出します。

② グローバルマインド養成プログラム

グローバルマインド養成科目群（別表1）から2単位以上修得します。この科目群は国際的な視野を広げるための入門科目として、自国の理解、世界の理解、留学に必要な専門知識など、留学や海外経験に関する基礎的な知識を修得することを目指します。主に日本語で開講されるこれらの科目を修得することで国際的な視野を養い、グローバルな環境での基礎知識を向上させます。

③ グローバルコミュニケーション力養成プログラム

グローバルコミュニケーション力養成科目群（別表2）から2単位以上修得します。これらの科目の修得に加えて、下記規定以上の語学力スコアを提出します。なお、語学力スコアの取得時期は問いません。これにより、国際的なビジネス環境で必要とされる語学力を強化し、キャリアの幅を広げます。

必要となる英語力スコア

TOEFL iBT 72（新スコア 4）、実用英語技能検定準一級、IELTS 5.5、TOEIC（L & R）785、TOEFL ITP 543、DET（Duolingo English Test）100

目標とする語学レベル：CEFR B2 自立した言語使用者

自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないでやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。

*注：学士課程国際コース（IUPE: International Undergraduate Program in English）所属（農学部、工学部）および共創学部10月入学の学生は、英語力スコアの提出を免除します。

④ 海外挑戦プログラム

九州大学の中・長期留学（91日以上）、もしくは短期留学やオンライン留学*に参加し、4単位**以上を修得します。留学経験を通じて、異文化適応力や実践的な課題解決能力を身につけ、国際的な人的つながりを築きます。留学先で修得した単位が4単位に満たない場合は海外挑戦科目群（別表3）の科目を受講し不足分を補うことができます。海外挑戦科目群は、英語で実施される授業で、国内学生と留学生が共に学ぶ国際共修型の学習環境で実施されます。

* オンライン留学とは、海外の大学や教育機関とオンラインでつながり、国際的な共修環境のもとで実施される学習活動を指します。具体的には、各学部で行われているオンライン留学プログラム、海外大学からの講義の受講や海外大学とのCOIL科目などが該当します。

**留学先大学で修得した単位は、本学で単位互換したものを有効とします。

⑤ 実践活動プログラム

留学や国際経験で得た学びや経験を活かして、大学や地域の国際化のために貢献します。選択肢の中から実践活動を選び、一つ以上実践します。これらの活動を通じて、国際社会において即戦力となる姿勢やスキルを上達させます。

活動後に、指定の様式に必要事項を記入の上、最終レポートと共に提出します。

⑥ 最終レポートの提出

自身の学びの振り返りと今後の展望を記した最終レポートを提出します。

2-3 履修細目

カリキュラム・科目群	必要要件	カリキュラム・科目概要
①認定制度ガイダンスと 学びのステートメント	学びのステートメントの提出	認定制度ガイダンスを受講し、本プログラムの履修を通した学びの目標を記した「学びのステートメント」を提出する。
②グローバルマインド 養成科目群	2 単位以上	国際的な視野を広げるための入門科目として、自国の理解、世界の理解、留学に必要な専門知識など、留学や海外経験に関する基礎的な知識を修得することを目指す。指定された基幹教育総合科目並びに高年次基幹教育科目、各学部の推薦科目から選択し受講する。
③グローバルコミュニケーション力養成科目群	2 単位以上 英語能力試験スコア	基幹教育言語文化科目や基幹教育総合科目等から指定された科目を選択し受講する。また所定の語学力スコアを取得する。
④海外挑戦科目群	4 単位以上	中・長期留学（91 日以上）、もしくは短期留学やオンライン留学に参加し単位を修得する。留学先で修得した単位が 4 単位に満たない場合は、指定された基幹教育総合科目、他の留学プログラムやオンライン留学プログラム等を組み合わせて受講し、単位を補うことができる。
⑤実践活動	1 つ以上の 実践活動	留学や国際経験で得た学びや経験を活かして、大学や地域の国際化のために貢献する。以下の選択肢の中から実践活動を選ぶ。 ● 留学説明会の運営やプレゼンテーションの実施（例：留学フェア） ● 国際関係イベントの運営（例：インバウンドプログラム） ● イベントや講義で認定制度に関する経験談の発表 ● 国際活動に関する広報活動（例：九大広報、SNS 投稿） ● 留学生のチューター・サポーター活動（例：九州大学留学生センター JTW・JTAS、部局の留学生サポーター等） ● 国際系サークル・学生団体の運営（例：九州大学留学生会 KUFSA、Q-Mate 等） ● 学外の国際的なボランティア活動（例：福岡よかトピア国際交流財団外国人支援ボランティアバンク、地域の小中高校生への普及活動） ● 学内の日本人学生と留学生の交流を促進するオリジナル企画を運営し学内教職員による活動証明を受ける
⑥最終レポート	レポートの提出	自身の学びの振り返りと今後の展望を記した最終レポートを提出する。

2-4

既修得科目の取扱い

本認定制度の履修開始の前、すなわち学びのステートメントを提出する前に、すでに本認定制度で課す科目を修得していた場合、その科目の単位を修了要件の必要単位数に算入することが可能です。また、プログラム②から⑤の履修の順番は自由です。

2-5

履修に関する注意事項

基幹教育の総合科目および高年次科目には「抽選科目」が多数含まれています。本プログラムの認定に必要であることを理由とした優先履修はできませんので、あらかじめご了承ください。

基幹教育の総合科目（オープン科目）は毎年度、開講科目の内容が変更される場合があります。履修計画を立てる際には、各自、最新の開講情報を必ず確認してください。その他の科目についても、教育課程の改正等により、今後開講されなくなる可能性があります。履修にあたっては、最新の情報を十分にご確認のうえ、計画的に履修してください。

指定科目一覧に示された基幹教育科目の中には、隔年で開講される科目も含まれています。履修計画を立てる際には、開講年度にご注意ください。

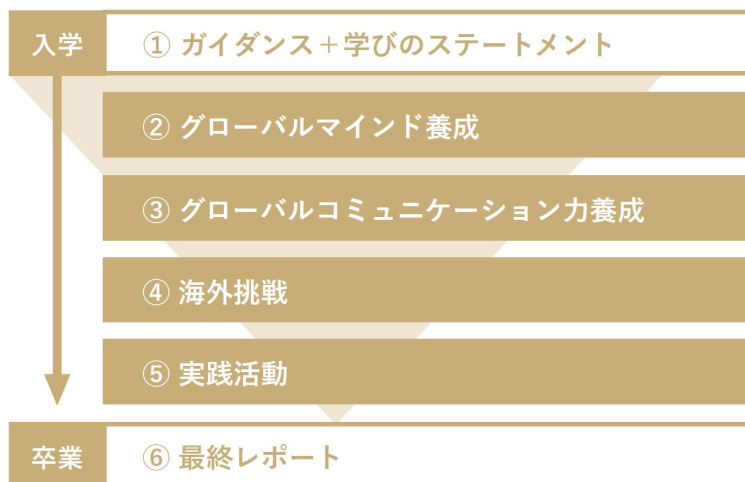
また、各学部で開講されている科目には、履修要件や受講制限など注意事項が含まれているものもありますので、履修計画を立てる際には、ご注意ください。

3 修了認定

3-1 修了要件

本認定制度では、以下の①から⑥の要件を満たし、所定の単位を修得することが求められます。

- ① 認定制度ガイダンスを受講し、学びのステートメントを提出すること。
- ② グローバルマインド養成科目群（別表1）から2単位以上修得すること。
- ③ グローバルコミュニケーション力養成科目群（別表2）から2単位以上修得し、加えて、本認定制度が指定する英語能力試験から規定以上のスコアを取得すること。
- ④ 九州大学の中・長期留学（91日以上）、もしくは短期留学やオンライン留学に参加し、4単位以上を修得すること。留学先で修得した単位が4単位に満たない場合は海外挑戦科目群（別表3）の科目を受講し不足分を補う。※ブロンズ認定証を取得する場合には④は不要
- ⑤ 本認定制度が規定する実践活動から一つ以上実践し、指定の様式に必要事項を記入の上、最終レポートと共に提出する。
- ⑥ 最終レポートと指定の履修記録や必要資料を提出する。なお、提出方法については、グローバルプロフェッショナル認定制度のMoodleで確認すること。



3-2 履修の開始から修了までのながれ

Step 1 グローバルプロフェッショナル認定制度の履修開始

学生はMoodleの指定ページにアクセスすることで、本学の学部・学部に在籍している期間であればいつでも開始できます。グローバルプロフェッショナル認定証の取得を目指す学生は、まず認定制度ガイダンスを受講し、所定のMoodleページに、「学びのステートメント」を提出します。

Step 2 プログラム科目の履修

プログラムの履修の順番は自由です。各プログラムの授業科目や留学先での履修登録については、開講学部等（基幹教育、各学部）の履修要項やWebサイト、各授業科目のシラバス等を確認の上、定められた方法で履修登録を行ってください。なお、集中講義により開講される科目は、通常の履修登録期間とは異なることがありますので、注意してください。

Step 3 修了認定

修了要件の①から⑤を満たしたら、最後に⑥自身の学びの振り返りと今後の展望を記した最終レポートを提出し、承認されることで、グローバルプロフェッショナル認定証を取得できます。修了認定申請方法については、グローバルプロフェッショナル認定制度のMoodleで案内します。

認定証はオープンバッジ形式にて授与されます。修了認定は、前期と後期（5月末・10月末）に申請し、認定証は前期は8月、後期は2月に発行されます。

3-3 認定証

本認定制度は修了要件の達成度に応じて3つの異なる認定証（ゴールド、シルバー、ブロンズ）を発行します。認定証は副専攻プログラムオープンバッジとして授与されます。なお、認定証は在学中に1種類のみ取得可能であり、複数種類の認定証を取得したり、取得後に上位の認定証へ変更（例：ブロンズからシルバーへの申請）することはできません。

- **ゴールド** ①認定制度ガイダンスと学びのステートメント、②グローバルマインド養成プログラム、③グローバルコミュニケーション力養成プログラム、④海外挑戦プログラム、⑤実践活動プログラムを修了した者のうち、④海外挑戦プログラムで91日以上の留学を経験し②から④の合計単位数を12単位以上修得した学生は、⑥最終レポートを提出し承認されることで、グローバルプロフェッショナル認定証ゴールドを取得します。
- **シルバー** ①認定制度ガイダンスと学びのステートメント、②グローバルマインド養成プログラム、③グローバルコミュニケーション力養成プログラム、④海外挑戦プログラム、⑤実践活動プログラムを修了した者のうち②から④の合計単位数を8単位以上修得し、④海外挑戦プログラムで留学期間が91日に満たない学生は、⑥最終レポートを提出し承認されることで、グローバルプロフェッショナル認定証シルバーを取得します。
 なお、④海外挑戦プログラムで91日以上の留学を経験し、②から④の合計単位数が12単位に満たないが8単位以上修得した学生については、①から⑥の修了要件を満たせば認定証シルバーへの申請が可能です。
- **ブロンズ** ①認定制度ガイダンスと学びのステートメント、②グローバルマインド養成プログラム、③グローバルコミュニケーション力養成プログラム、⑤実践活動プログラムを修了した者のうち②から③の合計単位数を4単位以上修得した学生は、⑥最終レポートを提出して承認されることで、グローバルプロフェッショナル認定証ブロンズを取得します。

修了認定 (バッジの種類)	必要単位数と修了要件	到達目標
ゴールド	12単位 91日以上の留学経験 英語能力試験スコア ①②③④⑤⑥	幅広い国際教養と語学力を基盤に、より高度な海外経験を通じて実践的な国際対応力を有します。また、実践的な活動や海外留学を通じた深い異文化理解と主体的に行動する力を有し、グローバルな視点からの課題解決能力を備えます。
シルバー	8単位 短期留学・オンライン留学 英語能力試験スコア ①②③④⑤⑥	幅広い国際教養と語学力を基盤に、海外経験を通じて実践的な国際対応力を有します。また、実践的な活動や海外留学を通じた深い異文化理解と主体的に行動する力を備えます。
ブロンズ	4単位 英語能力試験スコア ①②③⑤⑥	幅広い国際教養と語学力を基盤に、基礎的なグローバルマインドとコミュニケーション力を有します。また、実践的な活動を通じた深い異文化理解と主体的に行動する力を備えます。

問い合わせ先

国際教育ナビゲーションセンター（認定制度）

E-mail: inavi@jimu.kyushu-u.ac.jp

最終更新日：2026年7月8日